

JASPA通信

日本福祉用具・生活支援用具協会(Japan Assistive Products Association)
〒105-0002東京都港区愛宕1-6-7 愛宕山ビル 2階
TEL(03)3437-2623 FAX(03)3437-2624

「年頭所感」 日本福祉用具・生活支援用具協会 会長 木村 憲司(JASPA)

会員の皆様 新年明けましておめでとうございます。JASPA は早くも今年で設立7年目ですが、これも創立以来、永きに亘り本会を支えて戴きました関係各位並びに会員皆様のご支援、ご協力の賜と厚くお礼申し上げます。今年も、経費節減の観点から昨年に引き続き新年賀詞交歓会を取りやめていますので、紙面にて JASPA の置かれている状況及び活動について年頭の所感を申し上げます。

経済界全体は、一昨年のリーマンショック以来なかなか不況を脱しきれずにおりますが、当会員につきましてもこの影響を受けており、発足時の正会員 132 社から、現在は正会員 90 社と大きく減少しています。この間、正会員は新規入会が 24 社ありましたが、事業領域の見直し等による退会も 66 社あり会員数は大幅に減少しています。このため、本会の財政基盤である会員拡大及び会費の見直しの検討を行う必要がでてきましたので、昨年 6 月に開催した平成 21 年度通常総会においてご説明したとおり年会費の値上げについて検討することとなりました。そこで、理事 16 名により構成される「年会費検討委員会」及び「JASPA の在り方検討委員会」を設置し、平成 21 年 8 月 3 日から 12 月 16 日までの間計 5 回の真剣な検討を行い、現在最終的な詰め段階に入っています。現在の案では、平成 22 年度から正会員の年会費については、基本的な年会費の値上げのほかに品目別部会参加費の上乗せ及び理事会会費の上乗せを行う方向になっています。会員の皆様には、どうかこの状況をご理解いただき、福祉用具のメーカー団体として唯一の存在である JASPA の存続と発展にご協力、ご支援いただきますようお願い申し上げます。

また、経済産業省及び厚生労働省では、特に一昨年の消費生活用製品安全法の改正以来、福祉用具の安全性について重大な関心を寄せており、福祉用具の安全性の確保について新製品の安全だけでなく、既に出荷済みの製品についても安全性確保への一層の努力が業界に求められております。JASPA では、福祉用具の安全確保のために、まずは福祉用具のハード面での安全性確保のため JIS 規格の策定を行い、これに基づき JIS マークの認証を取っていただくよう活動を行っています。そのため介護保険対象種目のうち JIS 規格が出来ていない品目については優先度合を高め早期に策定を行い、昨年 12 月には「ハンドル形電動車いす」の JIS が新規制定され、そのほか「浴槽内いす」、「入浴台」、「浴室内すのこ」、「浴槽内すのこ」についても今年 3 月には新規制定される予定となっています。また、現在、「ポータブルトイレ」、「和洋式変換便座」、「入浴用いす」及び「体位変換器」について規格の原案を作成しているほか、「歩行器」、「歩行車」、「エルポクラッチ」、「多点つえ」、「ベッド用テーブル」、「腰掛け便座」については、JIS 規格に向けた試験法の開発を行っています。その結果、昨年「電動車いす」、「手動車いす」、「在宅用電動介護用ベッド」及び「可搬型スロープ」の新 JIS マーク認証が始まり、会員の方々からも新 JIS マークに対するニーズも急速に高まりつつあります。

しかし、JIS 規格によるハード面での安全性確保だけでは十分な安全性が確保できないことから、国からは安全な使い方等のソフト面の安全性の確保についても取り組みを要請されており、利用者に対する取り組みが個々の企業では困難であるため、団体として安全な使い方等の啓発活動に取り組んでいます。具体的には、「安全・安心部会」での活動を中心に事故情報、注意喚起文書、会員からの製品安全情報をホームページで発信しているほか、安全な使い方のための説明会等を実施し始めています。さらに、会員向けには、より一層安全な製品を製造するための「製造プロセスガイドライン」、「取扱い説明書ガイドライン」を作成し、それを習得するために会員研修活動を開始しています。

また、今後、福祉用具産業分野の今後の発展のためには、海外市場に対する取組が不可欠であり、そのため国に対して支援を要望していく必要がありますが、特に欧米人とアジア人の体格の違いに関し国際規格との整合性等について日中韓の協力関係が必要となるため、昨年初めて韓国及び中国との情報交換会議を開催しましたが、今年はこれを一層進展させていきます。

そのほか、昨年は国に対する取り組みとして、車いす・姿勢保持機器の公費給付制度の地域間格差に関する検討、リフトに関する介護労働者設備等整備モデル奨励金に向けた活動、段差解消機・階段昇降機の建築基準法告示に関する要望の提出等を行いました。今年は今後の介護保険制度の改正等に向けた検討を行っていきます。

しかし、正会員の一層の増強を図るためには、JASPA の活動範囲として、介護保険や公的制度だけではない取り組み強化が必要です。一つには、制度にかかわらない生活サポート用具である「生活支援用具」の市場にも拡大した事業展開を行い、この分野の会員の参加を促進する必要があります。この対応策については、「JASPAの在り方検討委員会」で議論を行なっており、住宅改修・生活支援用具(衣服、シューズ、ステッキ、シルバーカー、衛生材料等)の部会新設と、様々な推進策を検討しております。

さらに、関係団体との連携により、研修会・シンポジウムの研修事業でJASPAの活動を浸透させる事、廃棄・リサイクル・リユース等のエコ対策等新たな活動を構想しております。

また、JASPA は、現在「任意法人」となっていますが、今後 JASPA が一層の発展を期すためには、法律により権利能力が認められ権利義務の主体となる必要があります。そのために民間が担う公共を支える団体としての性格に鑑み、「一般社団」としての法人化を行う必要があるのではないかと考えております。

福祉用具業界の将来を左右することにもなるこの一年、JASPAは諸課題に真正面から向き合い、業界の活性化、信頼性の向上に全力を傾けるとともに、新たな展開に向けて基盤整備に邁進する所存です。関係各位のご協力をお願い申し上げます。

ハンドル形電動車いすの JIS 制定(日本規格協会)

ハンドル形電動車いす JIS が 2009 年 12 月 21 日に新たに制定されました。この JIS 規格は(財)日本規格協会で購入することが出来ます。

価格 : 3,465 円(消費税込)

注文先 : (財)日本規格協会出版事業部

TEL03-3583-8002 FAX03-3583-0462

消費生活用製品の重大事故に係る公表について(平成22年1月8日まで)(消費者庁)

平成18年5月14日の改正消費生活用製品安全法の施行以後、障害者・高齢者、要介護者等が、福祉用具を使用している際における重大製品事故(死亡、治療期間が1か月以上の負傷、火災、一酸化炭素中毒)の発生が少なからず起きています。この度、消費者庁から福祉用具の重大製品事故の公表がされましたので、JASPA 事務局にて福祉用具に関するものを整理し一覧表にして公表しました。使用者等へ注意喚起を図ると共に製品の安全性確保に一層取り組むようお願いします。尚、この一覧表については、JASPAホームページにおいてもご覧いただけます。

(詳細は同封資料をご覧ください)

配布資料

- ◆ (財)日本文化用品安全試験所から「試験所だより第8号」を入手しましたのでご活用ください。
(詳細は同封資料をご覧ください)
- ◆ 中国国際福祉博覧会から「2010 中国国際福祉博覧会」の出店案内を入手しましたのでご活用ください。
(詳細は同封資料をご覧ください)
- ◆ 上海万博生命陽光館準備室日本事務所から「第5回中国障害者・高齢者福祉機器展示会」の出展案内を入手しましたのでご活用ください。
(詳細は同封資料をご覧ください)
- ◆ 上海万博生命陽光館準備室日本事務所から「上海万博生命陽光館知能家居空間 上映ビデオ募集」の出展案内を入手しましたのでご活用ください。
(詳細は同封資料をご覧ください)
- ◆ 上海万博生命陽光館準備室日本事務所から「上海万博生命陽光館記念セミナー」のご案内を入手しましたのでご活用ください。
(詳細は同封資料をご覧ください)
- ◆ (財)神奈川科学技術アカデミーから「福祉のモノづくり・テクノロジー」講座のご案内を入手しましたのでご活用ください。
(詳細は同封資料をご覧ください)

情報交換コーナー

※JASPA通信では、この「情報交換コーナー」で、本会会員が他の会員に対して発信する情報を掲載しています。掲載のお申込みにあたっては、①本会の目的に沿ったものである②本会の中立性、公平性が守られるものである③本会の名誉を毀損するものでない情報とし、その情報の内容、掲載順、情報量等については、事務局で判断させていただきます。尚、掲載にあたっては、1件につき5,000円の掲載料(送付料を含む)をいただきます。
(お申込みは事務局までご連絡下さい)

協会運営 委員会・部会のスケジュール

- ◇ 1月22日(金) 第4回車いす・姿勢保持部会
- ◇ 1月25日(月) 第6回運営委員会
- ◇ 1月29日(金) 第5回 JASQM 研究会
- ◇ 1月29日(金) 第5回安全・安心部会 WG1
- ◇ 2月15日(月) 第6回リフト関連企業連絡会幹事会
- ◇ 2月25日(木) 第5回床ずれ防止部会
- ◇ 2月26日(金) 第6回 JASQM 研究会
- ◇ 2月26日(金) 第6回安全・安心部会
- ◇ 3月 5日(金) 第5回義肢装具部会
- ◇ 3月26日(金) 第7回 JASQM 研究会
- ◇ 3月26日(金) 第7回安全・安心部会

イベント予定

- ★H22年1月31日(日)「日豪国際フォーラム 2010」 【神戸】
- ★H22年2月5日(金)「技術セミナー 医療・福祉機器の電氣的安全性と製品開発」 【東京】
- ★H22年2月5日(金)「AD シンポジウム 2010～各省庁の高齢者・障害者配慮に関する政策報告～」 【東京】
- ★H22年3月5-6日(金-日)「介護予防・認知症予防総合フェア 2010」 【東京】
- ★H22年3月9日(火)「上海万博生命陽光館記念セミナー」 【川崎】
- ★H22年5月17-19日(月-水)「第5回中国障害者・高齢者福祉機器展示会」 【上海】
- ★H22年5月21-23日(金-日)「ウェルフェア 2010」 【名古屋】
- ★H22年9月19-21日(日-火)「2010 中国国際福祉博覧会」 【北京】
- ★H22年9月29日-10月1日(水-金)「第37回国際福祉機器展 HCR2010」 【東京】
- ★H22年10月6-9日(水-土)「REHACARE2010」 【デュッセルドルフ】
- ★H22年10月15-17日(金-日)「いきいき福祉・健康フェア 2010」 【札幌】
- ★H22年11月16-18日(火-木)「MEDTRADE」 【米国】

JASPA 会員状況

平成21年1月20日現在 正会員90社 個人会員28人 賛助会員 5社 特別会員10社